

第2回学校給食費検討特別委員会 会議録（要録）

平成26年10月17日作成

開催日時	平成26年10月10日（金曜日） 15時00分から 17時00分まで
開催場所	輝きプラザきらら7階会議室（地域活性化支援センター）
出席者	委員長：西本委員、副委員長：水嶋委員、 委員：三木委員、古賀委員、川口委員、畦西委員、石田委員
欠席者	石口委員、末松委員、竹村委員
案件名	1. 学校給食費に関する保護者アンケートについて 2. その他
提出された資料等の 名称	1. 「学校給食費に関する保護者アンケート」調査結果の概要 2. 「学校給食費に関する保護者アンケート」記述意見について 3. 保護者への依頼文書（平成26年9月8日）・アンケート用紙 4. 学校給食における加工パンの提供状況について
決定事項	・学校給食費の改定を行う方向で答申を行うこととする ・次回会議にて答申案の検討を行う
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	-人

発言者	審議内容
	1. 開会
委員長	<p>2. 案件1 学校給食費に関する保護者アンケートについて</p> <p>平成26年9月8日～12日に実施したアンケートの調査結果を踏まえ、審議を行う。事務局からの報告を求める。</p>
事務局	【資料1～4説明】
委員長	事務局からの説明について意見と質問を求める。
委員	私の学校では給食費の改定に反対する方が多く、比較的未納者も多い。保護者の皆さんは、未納率の状況や、給食費の使いみちについて、理解されていないことも多いという印象である。給食費が調理員の人件費の財源になっていると思っている方もいる。パンフレット等を通して情報を発信すべきと思う。
委員長	未納額は、給食費の会計規模からみると僅かなもの。完納されたとしても、給食費の改定が不要となる規模ではなく、保護者の皆さんにそのこと説明すれば、改定はやむをえないものと理解いただけると思う。
委員	<p>試食会では、給食費について様々な意見が寄せられる。食材の産地を確認するなど安全へのこだわりを説明すると納得いただける方もいる一方で、仕入れ方法の見直しで費用を抑えるべき、という意見も寄せられている。</p> <p>給食費の改定にあたっては、もっと安全・安心をアピールすることが必要と思う。値上げしてでも水には配慮してほしい、という意見もある。</p>
委員	<p>安全性について理解していただくため、試食会では調理作業での衛生管理の取り組みなどをビデオで紹介することもある。</p> <p>分かりやすさという意味では、給食費を改定したことで給食の何が良くよくなったのか、ということを示していくことが重要で難しいテーマになる。</p>
委員	<p>私の周りでは給食費の改定に反対という意見は聞いていない。</p> <p>安全へのこだわりなどについては、知らない方にこそ、知っていただきたい。さらに理解を深めていくことが大切である。</p>
副委員長	72.4%という高い回収率からも、保護者の関心の高さがうかがえ、有益に活用できる貴重なアンケートになったと思う。そうした中で、9割の方が改定に賛同されていることから、改定の方向で検討することがよいと思う。
委員	給食費の未納に関する意見は、改定反対の立場からの多く出されたものか。

委員長	<p>私の学校では、未納の保護者からも、値上げに反対の声を受けている。 未納問題は、マスコミを通じて、実際の未納率以上に大きなイメージが広がっているようにも思う。</p> <p>未納者への対応は、校長や担任が行っていますが、厳しい生活実態を知っていることから、厳しく難しい対応となっている。</p>
事務局	<p>平成 25 年度の給食費については、26 年 8 月末時点で納付率が 99.74%となっており、未納率は 0.26%となっている。</p>
委員	<p>校長が保護者の同意を得て、教材費・給食費等に係る生活保護費を預かるケースが増えていることも、改善につながっている。</p>
委員長	<p>これまでの審議を集約し、委員会として給食費の改定について方向性を確認したい。</p> <p>消費税率の改定等の影響を受け、副食費を抑えている状況にある中で、今回報告のあった保護者アンケートでは、回収率が 7 割を超え、うち 9 割を超える保護者が給食費の改定に賛同されている。こうした状況を踏まえ、この委員会では、給食費の改定については、行うべし、との意見集約をおこなってよいか。</p>
委員	<p>※異議なし</p>
委員長	<p>それでは、給食費の改定に向けて、委員会としての考え方を整理したい。</p> <p>前回の会議で確認したとおり、来年 4 月からの給食費改定を目標とし、今年中に答申を行っていくために、次回以降の会議では答申書のまとめ作業に入ることが必要となる。</p> <p>こうしたことから、答申の柱となる考え方について、次の 6 項目にもとづき、意見集約を図りたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 改定時期 (2) 改定額 (3) 消費税率 10%の対応 (4) 改定にあたっての改善事項 (5) 改定に向けた保護者への周知方法 (6) その他付帯意見
委員	<p>※異議なし</p>
委員長	<p>(1) 改定時期については、前回の会議において、私が「来年（平成 27 年）4 月の改定とすべき」と発言し、皆さんにも賛同いただいたことから、平成 27 年 4 月の改定としてよろしいか。</p>

委 員	※異議なし
委 員 長	(2) 改定額については、アンケートの記述意見で「月額 4,000 円以内」など具体的な金額も示されていた。アンケート結果と前回会議で示された事務局案を参考として、200 円増の月額 3,800 円とすることによろしいか。
委 員	※異議なし
委 員 長	(3) 消費税率 10%の対応についても、アンケート結果と前回会議で示された事務局案を参考として、大幅な物価上昇など税率改定以外の変動要因がなければ、さらに 100 円増の月額 3,900 円とすることによろしいか。
委 員	※異議なし
委 員 長	(4) 改定にあたっての改善事項については、本日報告のあった保護者アンケートの結果等を踏まえ、給食費改定にあわせて取り組むべき改善点等を示したい。
委 員	パンと麺の組み合わせなど、献立の組み合わせについて多くの意見が寄せられた。パンを提供せずスパゲティのみ提供する場合には、新たに大皿を購入する必要も出てくるなど、食器や食缶が制約となってくる。
委 員	パンについては、資料 4 にあるとおり、クロワッサンなどの加工パンの提供回数が減少しており、またバラエティも少なくなっている。こうした中で、子どもたちからは、コッペパンだけでは食べにくい、という意見も多い。 給食費の改定によって、加工パンの回数が増える、ジャムやバター、チョコレートなどの添加物の回数が増える、あるいはご飯にはふりかけが付くといった、献立で目に見える形の変化を示すことも大切である。
委 員 長	食器・食缶については、別の場で検討すべき課題と思う。加工パンや添加物等は、改善点として答申に盛り込むことにしたい。改善の可能性について、事務局の意見を聞きたい。
事 務 局	加工パンや添加物等については、副食費で支出しており、月額 3,800 円への改定を行うことにより、副食費が平成 20 年度の水準に回復することとなり、当時と同等回数の実施が可能と考えている。
委 員 長	献立で目に見える大きな変化を示せなくても、子ども達が喜んで食べる、残菜が減る、などの効果は後からついてくると思う。給食費改定による効果として、答申の中で盛り込んでいくことによろしいか。

委 員	※異議なし
委 員 長	(5) 改定に向けた保護者への周知方法については、改定時期を来年4月とした背景に、来年3月に開催される各校PTA定期総会において周知が可能とということがある。加えて、市のホームページや配布文書、献立表も活用できると考えている。
委 員	2月に各校で開催予定の入学説明会においても説明していくべき。エフエム放送でも周知は可能。
委 員	広報ひらかたで市民に広く周知することも効果的と考える。
事 務 局	給食費改定は学校給食会総会での議決を要するため、周知するタイミングは調整が必要となるが、広報ひらかたに学校給食の特集記事を掲載し、その中で給食費改定について周知できないか関係部署に確認する。
委 員 長	周知にあたっては、先ほど話のあった改善点なども一緒にアピールすべき。皆さんの意見を伺いたい。
委 員	学校給食で提供している海苔佃煮を例にすると、手作りすることで既製品よりも安価である。加えて、食べやすいように食材を切る大きさを考えたりするなど、工夫を盛り込んでいる。こうしたことを発信していくことが、給食費改定についての理解を深めることにつながると思う。
委 員	カレーはルウから手作りしていること、味噌汁の出汁は煮干からとっていること、マッシュルームは缶詰ではなく生のものを使用していることなど、教員も知らないことも沢山ある。今回の給食費改定の周知は、こうした点をアピールするいい機会にもつながる。
委 員	にんにくや調味料なども国産のものを使っており、アピールすべき。
委 員 長	給食費改定に向けた周知にあたっては、学校給食のこだわりや工夫、安心・安全に関する情報とあわせて行うべきとし、市のホームページや配布文書、献立表での周知に加え、広報や入学説明会等も活用していくべき、という意見集約でよろしいか。
委 員	※異議なし
委 員 長	(6) その他付帯意見について、皆さんの意見を伺いたい。

委員	牛乳に関する意見が多数寄せられた、という印象がある。ご飯と牛乳の組み合わせなどについては、賛否双方の意見があると思うが、学校給食における牛乳は法的な位置づけもあることから、抜本的な見直しは難しいと考える。私自身は、ご飯と牛乳の組み合わせを否定していないが、この場での意見にとどめたい。
事務局	学校給食は、学校給食法施行規則において「完全給食」「補食給食」「ミルク給食」に区分されており、いずれの区分にも牛乳は含むものとされている。
委員長	答申において示すべき附帯意見は、現時点では特になしということによろしいか。
委員	※異議なし
委員長	次回の会議では、これらの柱に肉付けをする形で、答申書のたたき台となる事務局案を用意してもらい、私と水嶋副会長で確認した上で皆さんにご審議いただくことにしたい。
委員長	<p>3. 閉会</p> <p>次回の会議は、11月18日15時00分から開催する。</p>